



SCV の導入要件

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

NetApp

January 31, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/sc-plugin-vmware-vsphere-46/scpivs44_deployment_planning_and_requirements.html on January 31, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

SCV の導入要件	1
導入の計画と要件	1
必要な最小 ONTAP 権限	6
最小限の vCenter 権限が必要です	7

SCV の導入要件

導入の計画と要件

仮想アプライアンスを導入する前に、導入要件を確認しておく必要があります。導入の要件を次の 5 つの表に示します。

ホストの要件

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入を開始する前に、ホスト要件を確認しておく必要があります。

- SnapCenter VMware プラグインを Linux VM として導入する必要があります。

SnapCenter VMware プラグインは、プラグインを使用して Windows システムと Linux システムのどちらのデータを保護しているかに関係なく、Linux VM として導入されます。

- SnapCenter VMware プラグインを vCenter Server に導入する必要があります。

バックアップスケジュールは、SnapCenter VMware プラグインが導入されているタイムゾーンで実行されます。vCenter では、vCenter が配置されているタイムゾーンでデータが報告されます。そのため、SnapCenter VMware プラグインと vCenter が異なるタイムゾーンにある場合は、SnapCenter VMware プラグインダッシュボードのデータがレポートのデータと同じでないことがあります。

- SnapCenter VMware プラグインは、名前に特殊文字が含まれるフォルダには導入しないでください。

フォルダ名には、\$! @ # % ^ & () _ + { } ' ; * ? " <> | という特殊文字は使用できません

- vCenter Server ごとに、個別の SnapCenter VMware プラグインインスタンスを導入して登録する必要があります。

◦ 各 vCenter Server は、リンクモードかどうかに関係なく、SnapCenter VMware プラグインの個別のインスタンスとペアリングする必要があります。

◦ SnapCenter VMware プラグインの各インスタンスを個別の Linux VM として導入する必要があります。

たとえば、6 つの異なる vCenter Server インスタンスからバックアップを実行する場合は、6 つのホストに SnapCenter VMware プラグインを導入し、各 vCenter Server を SnapCenter VMware プラグインの一意のインスタンスとペアリングする必要があります。

- VVol VM (VMware VVOL データストア上の VM) を保護するには、最初に ONTAP Tools for VMware vSphere を導入する必要があります。ONTAP ツールは、ONTAP および VMware Web Client 上で VVol 用のストレージをプロビジョニングして設定します。

詳細については、を参照してください "[VMware vSphere 向け ONTAP ツール](#)"

サポートされている ONTAP ツールのバージョンの最新情報については、を参照してください "[NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます](#)"。

- SnapCenter VMware プラグインは、Storage vMotion のサポートにおける仮想マシンの制限により、共有 PCI デバイスまたは PCIe デバイス (NVIDIA Grid GPU など) を限定的にサポートします。詳細につ

いては、ベンダーが提供している『Deployment Guide for VMware』を参照してください。

◦ サポートされる内容：

リソースグループを作成しています

VM 整合性なしでバックアップを作成する

すべての VMDK が NFS データストアにあり、かつ Storage vMotion を使用する必要がない場合の VM 全体のリストア

VMDK の接続と接続解除

データストアのマウントとアンマウント

ゲストファイルのリストア

◦ サポートされない機能：

VM と整合性のあるバックアップを作成しています

VMFS データストア上にある VMDK が 1 つ以上ある場合の VM 全体のリストア

- SnapCenter VMware プラグインの制限事項の詳細については、を参照してください "『[SnapCenter Plug-in for VMware vSphere リリースノート](#)』"。

ライセンス要件

次のライセンスを提供する必要があります。	ライセンス要件
ONTAP	次のいずれか： SnapMirror または SnapVault （関係のタイプに関係なくセカンダリデータ保護を行う場合）
その他の製品	Storage vMotion を使用するリストア処理を実行するには、 vSphere Standard 、 Enterprise 、または Enterprise Plus vSphere ライセンスが必要です。 vSphere Essentials または Essentials Plus ライセンスには、 Storage vMotion は含まれません。
主な目的地	SnapCenter Standard : VMware SnapRestore を介したアプリケーションベースの保護を実行する場合に必要： VMware の VM およびデータストアのみ FlexClone のリストア処理を実行する場合に必要： VMware の VM およびデータストアのみのマウント処理と接続処理に使用
セカンダリデスティネーション	SnapCenter Standard : VMware FlexClone を介したアプリケーションベースの保護のフェイルオーバー処理に使用： VMware の VM およびデータストアのみでのマウント処理と接続処理に使用されます

ソフトウェアサポート

項目	サポートされるバージョン
vCenter vSphere	HTML5 クライアント： 6.5U2/U3、 6.7x、 7.0、 7.0U1、 7.0U2、 7.0U3 Flex クライアントはサポートされていません。
ESXi	6.5U2 以降
IP アドレス	IPv4、 IPv6
VMware TLS	1/2
SnapCenter サーバ上の TLS	TLSv1.1 以降 SnapCenter サーバは、 SnapCenter VMware プラグインとの通信を使用して、 VMDK 経由のデータ保護処理をアプリケーションに提供します。
VMware Application vStorage API for Array Integration (VAAI)	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、この設定を使用してリストア処理のパフォーマンスを向上させます。また、 NFS 環境のパフォーマンスも向上します。
VMware 向け ONTAP ツール	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、この設定を使用して VVol データストア (VMware 仮想ボリューム) を管理します。サポートされるバージョンについては、 NetApp Interoperability Matrix Tool を参照してください。

サポートされているバージョンの最新情報については、を参照してください ["NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます"。](#)

スペースとサイジングの要件

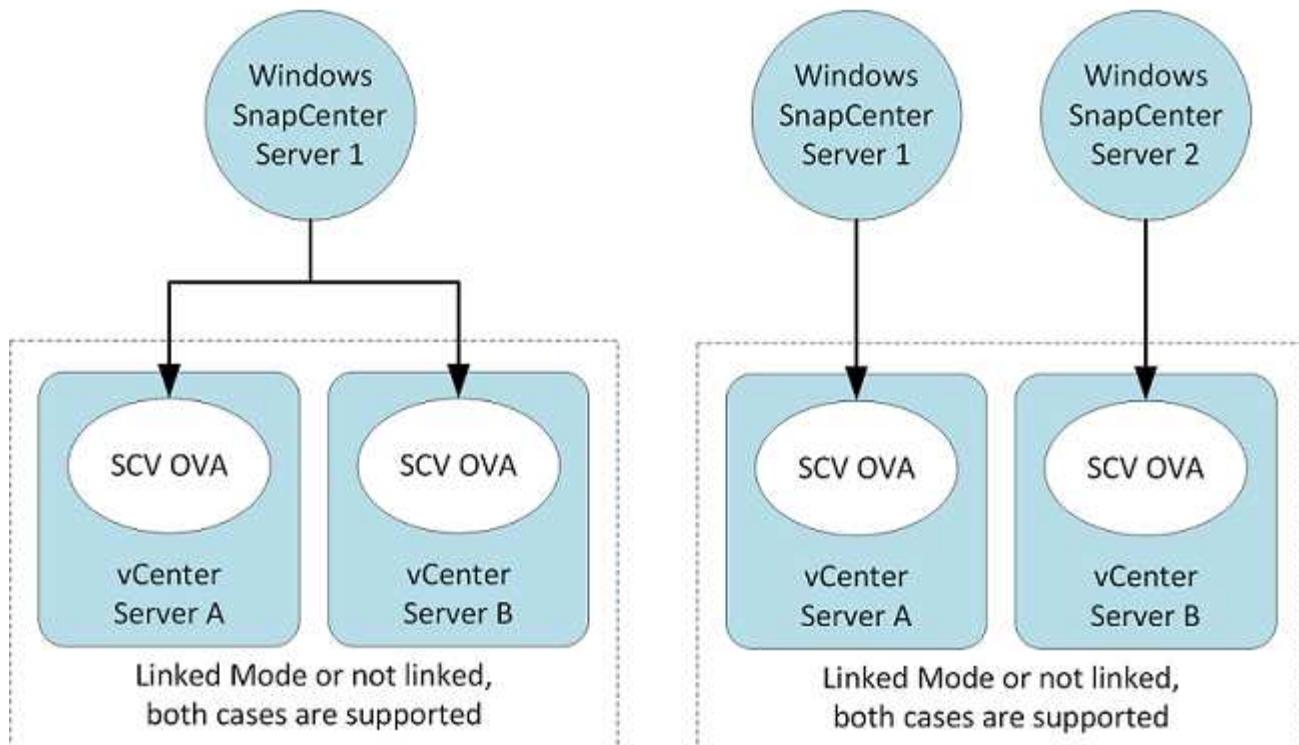
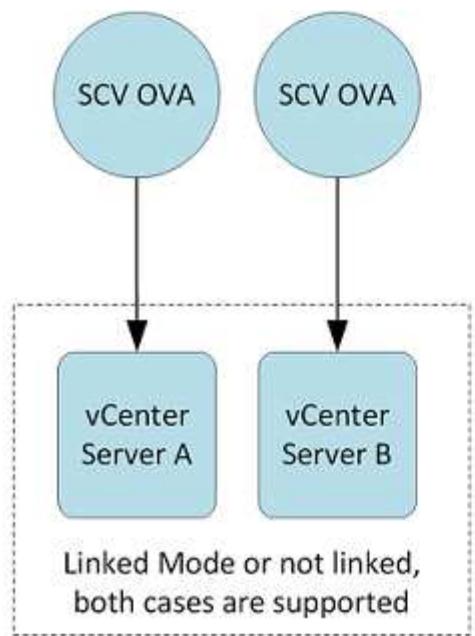
項目	要件
オペレーティングシステム	Linux の場合
最小 CPU 数	4 コア
最小 RAM	最小： 12GB 。推奨： 16GB
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 、ログ、および MySQL データベースの最小ハードドライブスペース	100 GB

接続とポートの要件

ポートのタイプ	事前設定されたポート
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のポート	8144（HTTPS）。双方向のポートは、VMware vSphere Web Client と SnapCenter Server からの通信に使用されます。8080 Bidirectional このポートは仮想アプライアンスの管理に使用されます。 注：ポート設定は変更できません。
VMware vSphere vCenter Server のポート	VVol VM を保護する場合はポート 443 を使用する必要があります。
ストレージクラスタまたは Storage VM ポート	443（HTTPS）、双方向 80（HTTP）、仮想アプライアンスと Storage VM または Storage VM を含むクラスタ間の通信に使用されるポート。

サポートされる構成

各プラグインインスタンスでサポートされる vCenter Server は 1 つだけです。リンクモードの vCenter がサポートされます。次の図に示すように、複数のプラグインインスタンスで同じ SnapCenter サーバをサポートできます。



RBAC 権限が必要です

vCenter 管理者アカウントには、次の表に示す vCenter 権限が必要です。

この操作を実行するには ...	次の vCenter 権限が必要です ...
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入して vCenter に登録	拡張子 : 拡張子を登録します

この操作を実行するには ...	次の vCenter 権限が必要です ...
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere をアップグレードまたは削除します	内線番号 • 拡張機能を更新します • 拡張機能を登録解除します
SnapCenter に登録された vCenter Credential ユーザ アカウントに、 SnapCenter Plug-in for VMware vSphere へのユーザアクセスが検証されるようにします	sessions.validate.session
ユーザに SnapCenter Plug-in for VMware vSphere へのアクセスを許可します	SCV Administrator Backup SCV Guest File Restore SCV Restore SCV View 権限が vCenter ルートで割り当てられている必要があります。

AutoSupport

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、 プラグインの URL など、 その使用状況を追跡するための最小情報を提供します。 AutoSupport には、 AutoSupport ビューアによって表示されるインストール済みプラグインの表が含まれています。

必要な最小 ONTAP 権限

必要な最小 ONTAP 権限は、 データ保護に使用する SnapCenter プラグインによって異なります。

すべての SnapCenter プラグインには、 次の最小権限が必要です。

フルアクセスコマンド : ONTAP 8.3 以降で必要な最小権限
event generate-autosupport-log を指定します
job history show job stop コマンドを実行しました
lun lun create lun delete lun igrup add lun igrup create lun igrup delete lun igrup rename lun igrup rename lun igrup show lun mapping add-reporting-nodes lun mapping create lun mapping remove-reporting-nodes lun mapping show lun modify lun move-in-volume LUN offline LUN online lun persistent-reservation clear lun resize lun serial lun show をクリックします
snapmirror list-destinations snapmirror policy add-rule snapmirror policy modify -rule snapmirror policy show snapmirror restore snapmirror show -history snapmirror update snapmirror update-ls-set
バージョン
volume clone create volume clone show volume clone split start volume clone split stop volume create volume file clone create -volume file show-disk-usage volume online volume modify volume qtree create volume qtree delete volume qtree modify volume qtree show volume snapshot create を実行します volume snapshot delete volume snapshot modify volume snapshot rename volume snapshot restore volume snapshot restore-file volume snapshot show volume unmount

フルアクセスコマンド： ONTAP 8.3 以降で必要な最小権限

```
vserver cifs share create vserver cifs share create vserver cifs share delete vserver cifs shadowcopy show  
vserver cifs share show vserver cifs share show vserver cifs show vserver export-policy vserver export-policy  
vserver export-policy vserver export-policy create vserver export-policy rule create vserver export-policy rule  
create vserver export-policy rule show vserver export-policy rule show vserver iscsi vserver iscsi vserver iscsi  
connection show vserver show network interface network interface failover-groups network interface show を  
実行します
```

読み取り専用コマンド： ONTAP 8.3 以降で必要な最小権限

```
Vserver
```

ONTAP に関するその他の情報

- ONTAP 8.2.x を実行している場合：

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の処理を実行するための適切な権限を取得するには、 Storage VM の 「vsadmin」 としてログインする必要があります。

- ONTAP 8.3 以降を実行している場合：

「vsadmin」 としてログインするか、 上記の表に記載された最小権限を持つロールでログインする必要があります。

最小限の vCenter 権限が必要です

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入を開始する前に、 最小限必要な vCenter 権限があることを確認する必要があります。

vCenter Admin ロールに必要な権限

```
System.Anonymous System.View System.Read Datastore.Rename Datastore.Move  
Datastore.FileManagement Datastore.FileManagement Datastore.AllocateSpace Network.Assign  
Host.Config.Storage Host.Config.AdvancedConfig Host.Config ホスト .Config.Settings Host.Settings  
Host.Local.Reconfig.VM Host.Reconfig.Reconfig.VirtualMachine  
Resist.VirtualMachine.VirtualMachine.CreateObject.VirtualMachine.VirtualMachine.VirtualMachine.VirtualMachine  
.VirtualMachine.CreateObject.VirtualMachine のインベントリのインベントリの再構成ホスト  
.VirtualMachine.VirtualMachine.VirtualMachine.VirtualMachine.VirtualMachine.VirtualObject.Virtual  
VirtualMachine.VirtualMachine.VirtualObject.VirtualMachine.CreateQuery.VirtualMachine のインベ  
ントリのインベントリの再構成にての再構成にての再構成にてのインベントリを実行
```

SnapCenter Plug-in for VMware vCenter に固有の必要な権限

```
netappSCV .Guest .RestoreFile netappSCV .Recovery.MountUnmount netappSCV  
.Backup.ConfigureStorageSystems.Delete netappSCV .View netappSCV netappSCV  
.ConfigureStorageSystems.AddUpdate netappSCV  
.Backup.BackupNow.BackupNow.ConfigureStorageSystems.BackupNow.ConfigureSCV .Configure.configSCV  
BackupSCV .Configure.configSCV Server
```

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。